

2008年（平成20年）全日本トラック協会 今年の10大ニュース（順不同）

平成20年12月24日

- 一 原油価格が乱高下。WTI原油価格は7月に史上最高値の147ドル/バレル、国内軽油価格も143円/リットルと過去最高値を記録。一方、世界的景気後退を受け年末にはWTI原油価格は一時40ドル割れとなるも、国内軽油価格の下落は鈍く。
- 一 8月26日、業界史上初となる「燃料価格高騰による経営危機突破全国一斉行動」を展開。全国で過去最大規模の2万人の事業者が参加。
- 一 国土交通省と公取の初の連名による「燃料サーチャージ制」、「下請・荷主適正取引ガイドライン」など、国を挙げた燃料高騰対策相次ぐ。第一次補正予算による業界史上最大規模の「トラック燃費対策構造改善事業」も実施。
- 一 高速道路及び本四連絡橋の通行料金大幅引き下げ。首都高、阪高の距離別料金導入は延期、見直しへ。
- 一 要望実り、国土交通省、社会保険等未加入対策を強化。新規参入事業者に法令試験制度を導入。荷主勧告制度の対象を拡大するなど、社会規制を強化へ。
- 一 首都高でタンクローリーが炎上、約2ヵ月間通行止めとなり社会問題に。さらに求められる事故防止対策。
- 一 今年で40回目となる全国トラックドライバー・コンテストを開催。記念大会として関連行事が催される。
- 一 業界の取り組みが環境対策に大きく貢献。八都県市内すべての自動車排出ガス測定局でSPM環境基準を達成。CO₂排出削減目標を上乗せした削減目標も達成の見通し。
- 一 安全性優良事業所認定数が1万1千事業所を突破。Gマーク車両は全体の3割に迫る。
- 一 運輸事業振興助成交付金制度は延長へ。税制大綱に、「都道府県に対する確実な予算措置の要請」が盛り込まれる。